

～わが街今昔～

青葉区美しが丘一丁目 昭和43年7月
たまプラーザ団地 (1968年)



2010年4月4日、「あなたはだあれ?」の監督と俳優のFさん、Hさんがウルトラセブンのロケ地巡りということで団地を訪れ、当時のことを思い出しながら団地内を散策されました。写真のポインターは、千葉在住の城井さん。

が制作されたレプリカ。このロケ巡りのあと、美しが丘公園で開かれていた「桜まつり」に参加していただきました。(ひろたりあん通信 2010年4月号掲載)



現在のたまプラーザ団地



昭和43年(1968)の8月25日、特撮テレビ番組「ウルトラセブン」の第47話「あなたはだあれ?」が全国ネットで放映されました。写真は、その1ヶ月前に「たまプラーザ団地」で行われたロケ現場に集まった子どもたちを撮影したスナップ写真です。

写っている車は、ウルトラセブンの劇中に登場するウルトラ警備隊の特殊車輛「ポインター号」。当時、子どもたちの憧れだったこの車両は、クライスラーのインペリアル クラウン 1958年モデルをベースに造られています。本番待ちの休憩中、子どもたちは、主人公「モロボシ・ダン」役の森次晃嗣さんや毒蝮三太夫(旧芸名:石井伊吉)さんに遊んでもらったそうです。警備隊のヘルメットを被らせてもらい、憧れのポインター号に乗らせてもらっているのは、撮影された長野さんの息子さん。以来、この写真は息子さんの宝物になりました。



昭和43年(1968)3月に竣工した「たまプラーザ団地」は、人気のエリアで駅にも近いところから入居希望者が殺到しました。この頃、団地には巡回のクリーニング屋さんややって来ていたそうです。「僕はアヒルの洗濯屋～ママ号、ママ号♪」という独特の節回しの歌を覚えていた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。ちんどん屋さんが街を練り歩くなど、この当時のたまプラーザは、いろいろな音にあふれていました。*ウルトラセブンの撮影は夜も行われ、見学に来ていた小学生の姿が実際の映像にも映り込むというハプニングもありました。当時のたまプラーザ団地の様子は、市販のDVD「ウルトラ 1800 ウルトラセブン Vol.12 <最終巻>」で確認できます。

写真提供 : 美しが丘 長野さん

